



2018年度第2四半期決算説明会

2018年11月16日

株式会社J-オイルミルズ

代表取締役社長 八馬史尚

2018年度第2四半期決算概況 ー増収・増益を達成ー

- 良好なミール相場環境を受けた油脂事業の好調
- 2017年度より取り組んできた油脂事業の価格改定効果の維持
- 高付加価値品の進捗の遅れ
- 油脂加工品事業の採算の悪化
- 旧住吉工場の資産の譲渡による特別利益の計上

(億円)

	実績			期初公表	
	2017年度 2Q	2018年度 2Q	対前年 増減率	2018年度 2Q	対公表 達成率
売上高	923.0	933.4	+1.1%	957.0	▲2.5%
営業利益	17.6	32.6	+85.8%	31.0	+5.2%
経常利益	19.8	34.4	+73.7%	32.0	+7.4%
当期純利益※	17.2	29.2	+70.1%	24.0	+21.6%

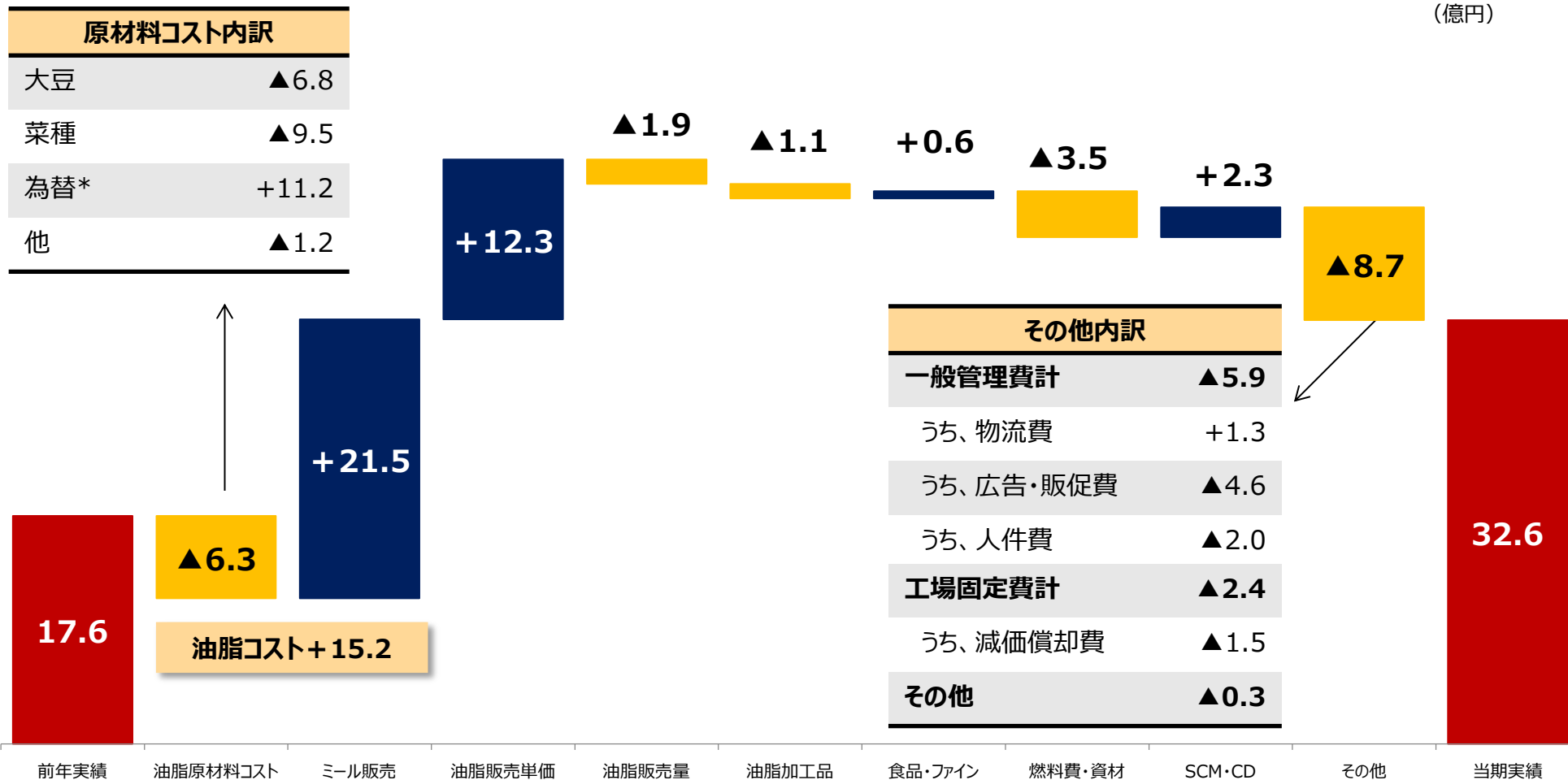
<当期純利益>

- 旧住吉工場資産の譲渡に伴う固定資産売却益の計上(4.4億円)、および将来減算一時差異に関わる繰延税金資産の取り崩し
- 特別損失として台風21号影響1.2億円を計上

※親会社株主に帰属する当期純利益

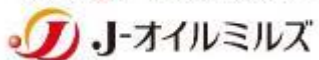
2018年度第2四半期 営業利益分析（対前年同期）

(億円)



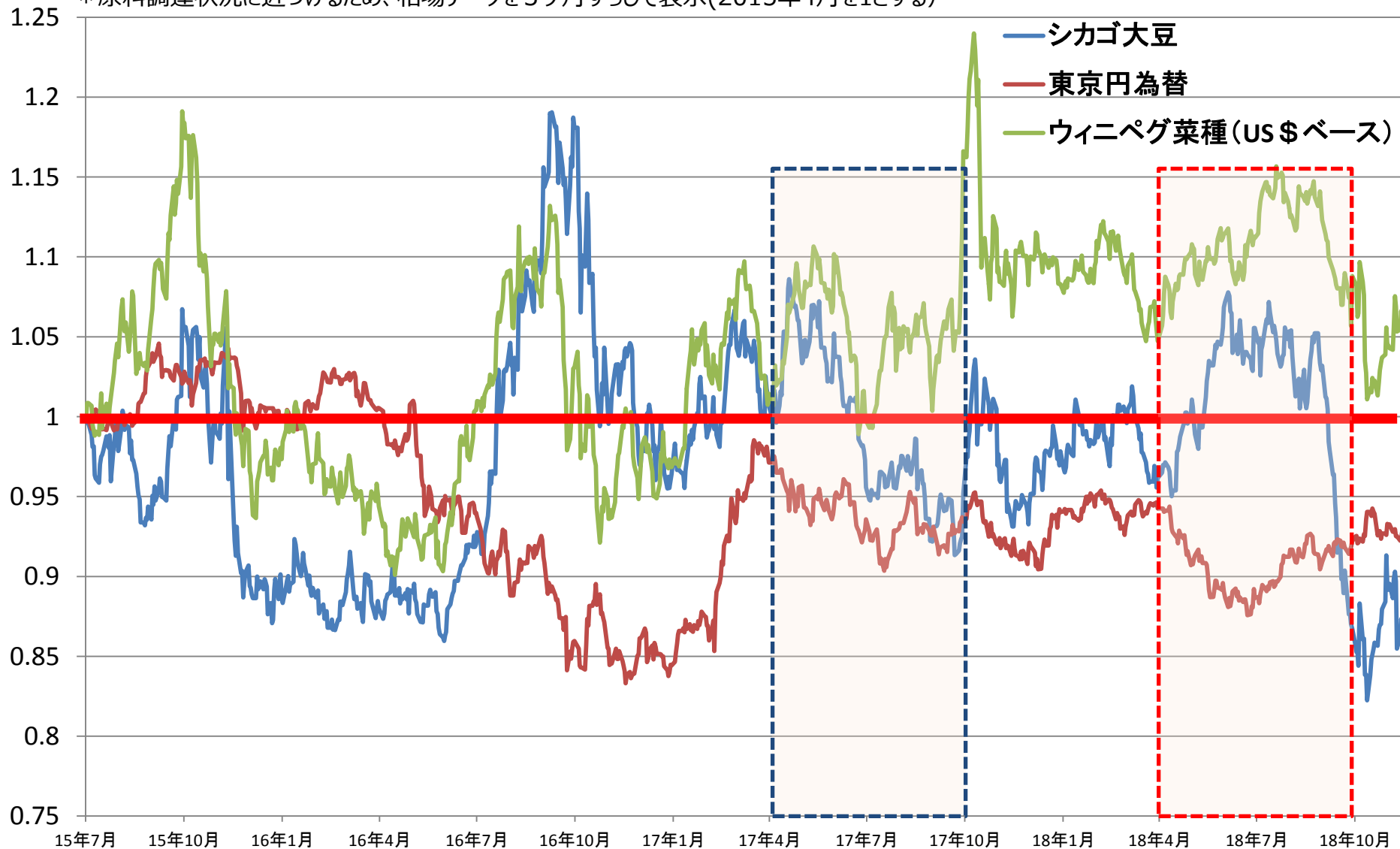
*為替 17年度2Q : 112.4円/1ドル、18年度2Q : 108.2円/ドル

おいしいは 幸せのエネルギー。



大豆、菜種、為替(米ドル)の相場動向

* 原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2015年4月を1とする)



おいしいは 幸せのエネルギー。

連結貸借対照表、連結キャッシュ・フロー計算書、投資関連データ

連結貸借対照表

(億円)

	18/3期	18/9期	増減		18/3期	18/9期	増減
流動資産	747	717	▲ 30	負債	695	621	▲ 74
現預金	29	25	▲ 4	仕入債務	148	143	▲ 5
売上債権	340	345	5	有利子負債	309	240	▲ 69
棚卸資産	345	324	▲ 21	引当金	42	45	3
その他	34	24	▲ 10	その他	197	192	▲ 4
固定資産/繰延資産	790	773	▲ 17	純資産	841	869	28
有形・無形資産	622	602	▲ 20	株主資本	789	812	23
投資その他	167	171	3	包括利益他	52	57	5
資産計	1,536	1,490	▲ 46	負債・純資産計	1,536	1,490	▲ 46

B/Sのポイント

- 棚卸資産：原料在庫 ▲17
- 有形固定資産：
旧住吉工場資産譲渡 ▲16
- 有利子負債：
短期借入金 ▲59
1年内返済予定長期借入金 ▲8
[旧住吉資産譲渡金の充当
棚卸資産減少 など]

連結キャッシュ・フロー計算書

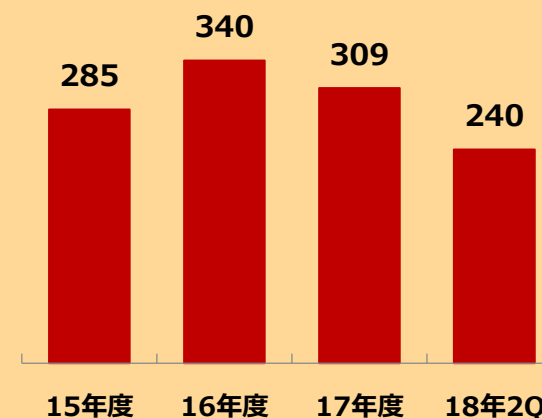
	17/9期	18/9期	増減
営業活動によるC/F	▲ 23	82	104
投資活動によるC/F	▲ 20	▲ 10	10
財務活動によるC/F	16	▲ 77	▲ 93
期末残高	30	25	▲ 5

投資関連データ

	17年度	18年度2Q
設備投資額※	54	21
減価償却費	49	25

※設備投資額、減価償却費にはリース資産分含む

有利子負債の推移



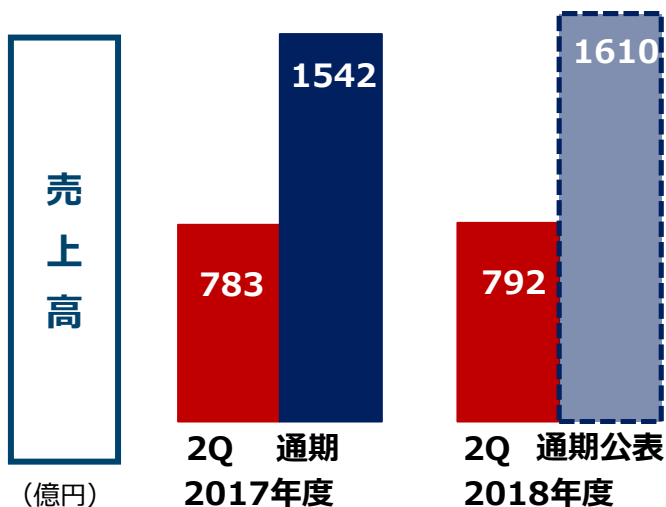
セグメント情報

(億円)

売上高	17/2Q 実績	18/2Q 実績	対前年同期 増減	18通期 期初公表	18/2Q vs 公表進捗
油脂	783	792	+1.1%	1,610	49.2%
油脂加工品	67	65	▲2.4%	143	45.5%
食品ファイン	65	69	+6.5%	135	51.2%
その他	8	7	▲10.6%	32	23.1%
連結	923	933	+1.1%	1,920	48.6%

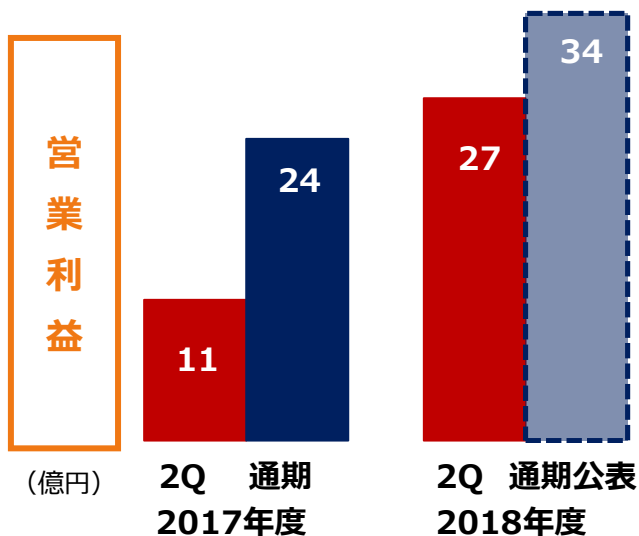
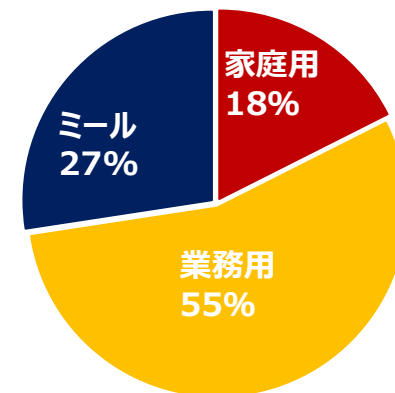
営業利益	17/2Q 実績	18/2Q 実績	対前年同期 増減	18通期 期初公表	18/2Q vs 公表進捗
油脂	11	27	+143.1%	34	80.1%
油脂加工品	2	1	▲53.7%	8	12.0%
食品ファイン	3	4	+16.8%	11	35.0%
その他	1	0.6	▲42.2%	2	27.5%
連結	18	33	+85.8%	55	59.3%

油脂事業



<実績>

- 価格重視の販売戦略
- オリーブオイル市場拡大、売上成長加速
- 「長調得徳」の拡大
- アルゼンチンの干ばつによるミール価格の上昇



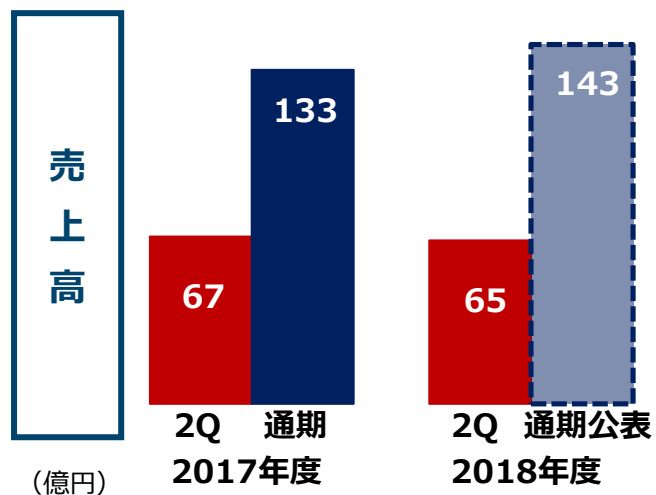
<営業利益増減分析(対前同) >

- 油脂コストの良化
- 一般管理費の増加

	営業利益	価格	物量	その他
家庭用油脂		+ 4.0	▲ 2.3	
業務用油脂	+16.0	+ 8.3	+ 0.4	+5.7
合計		+ 12.3	▲ 1.9	

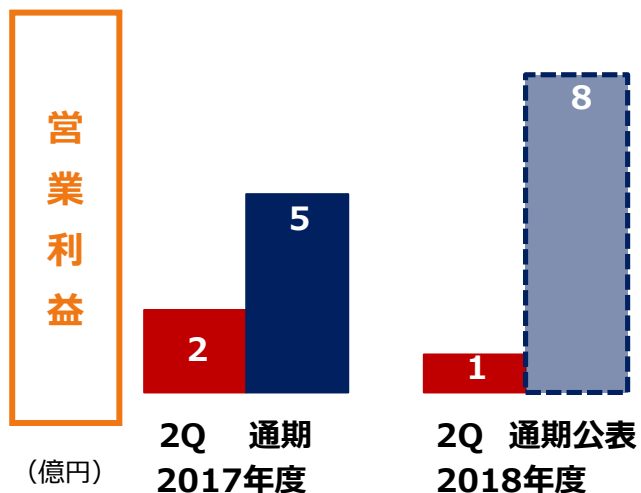
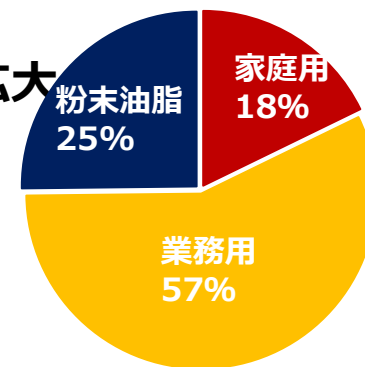
おいしいは 幸せのエネルギー。

油脂加工品事業



<実績>

- 家庭用「ラーマ」ブランドの販促強化による拡大
- 業務用マーガリン高付加価値品の拡大
- 業務用マーガリン汎用品の売上減少
- 粉末油脂の減少



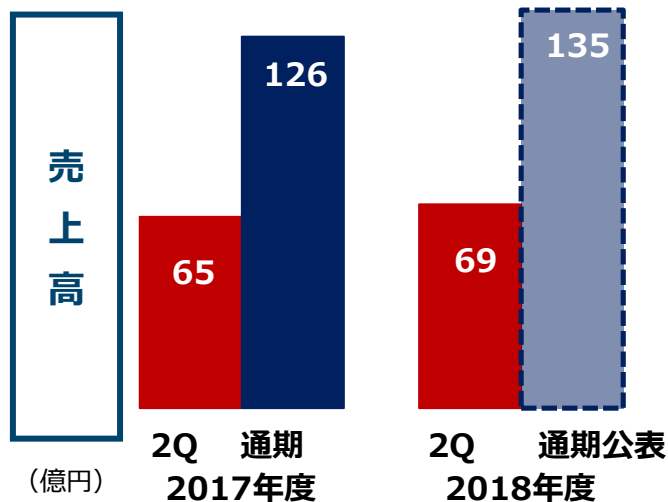
<営業利益増減分析(対前同) >

- 価格改定を実施したが、原料費の上昇の吸収に至らなかった
- (億円)

	営業利益	価格	物量	その他
家庭用マーガリン	▲ 1.1	▲ 0.1	+ 0.3	▲ 1.5
業務用マーガリン		+ 0.6	+ 0.0	
粉末油脂		+ 0.2	▲ 0.6	
合計		+ 0.6	▲ 0.3	

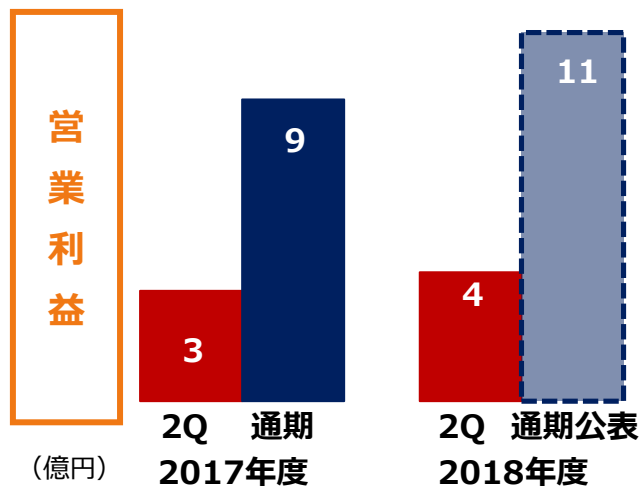
おいしいは 幸せのエネルギー。

食品・ファイン事業



<実績>

- スターチ：食品用・工業用途スターチの好調
- ファイン：米国でのグルテンフリー訴求による需要増と販売エリア拡大によるSOYシートの好調
- ケミカル：接着剤の価格改定、販売数量増による売上の増加



<営業利益増減分析(対前同) >

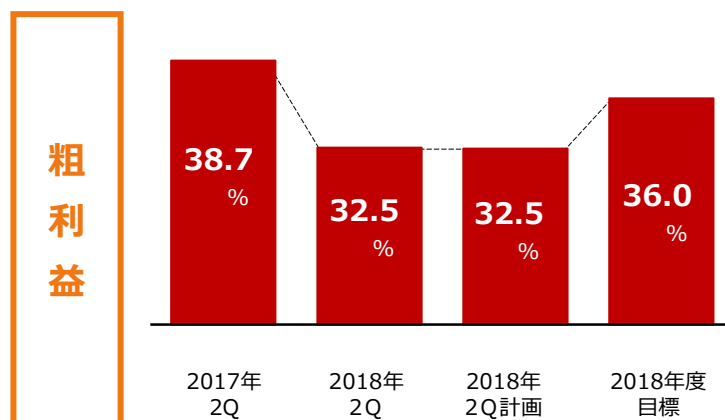
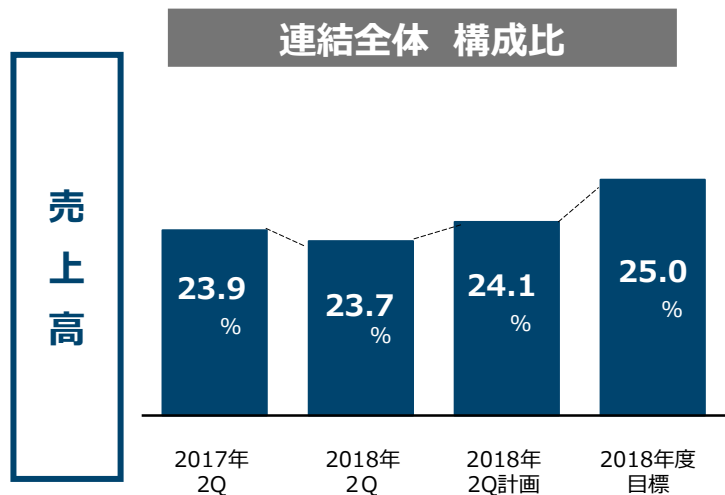
- スターチ：タピオカコストのアップ
- ケミカル：原料費の上昇

(億円)

	営業利益	価格	物量	その他
スターチ	+ 0.6	+ 0.3	+ 0.5	▲ 2.3
ファイン		▲ 0.2	+ 0.4	
ケミカル他		+ 1.7	+ 0.2	
合計		+ 1.8	+ 1.0	

おいしいは 幸せのエネルギー。

高付加価値品



(億円)

	17/2Q 実績	18/2Q 実績	18/2Q 計画	18/通期 計画
売上高	220.9	221.2	230.6	480.0
売上高構成比	23.9%	23.7%	24.1%	25.0%
粗利益	58.7	56.4	59.1	
粗利益率	26.5%	25.5%	25.6%	
粗利益構成比	38.7%	32.5%	32.5%	36.0%

- 売上高
 - ✓ 「オリーブオイル」「長調得徳」他は計画には届かなかったが、前年を上回った
- 粗利益
 - ✓ 「オリーブオイル」の原料費の上昇(対前同)

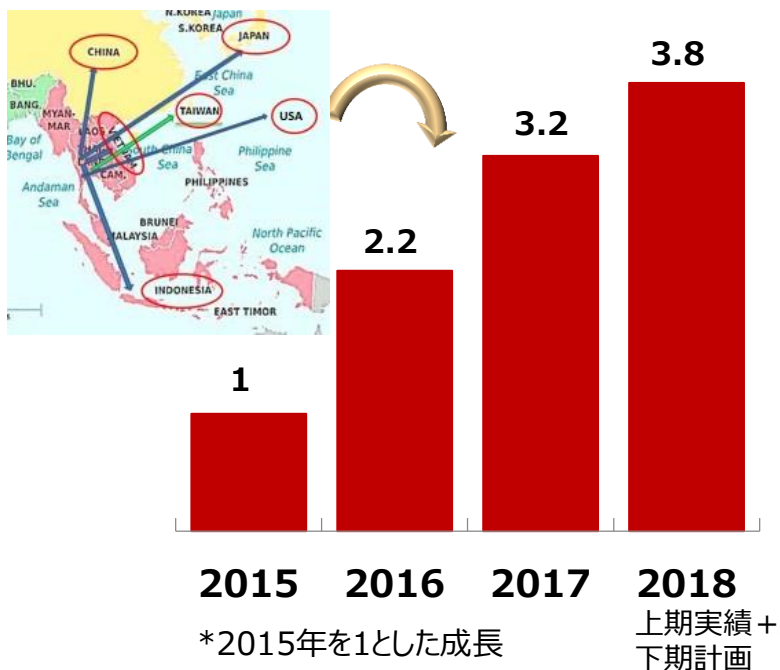


おいしいは 幸せのエネルギー。

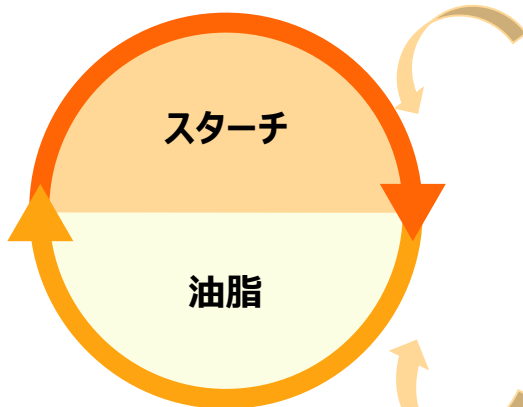
海外事業

- 油脂・スターチによるトータルソリューションにより、タイ (JOT・SSC*)を中心としたアセアン域内で顧客の「おいしさ創造」を実現

JOT 現地通貨ベースでの売上成長*



「おいしさ創造」の 実現



今後の打ち手

- 畜肉関連商品への食感改良ニーズ対応先拡大
- 油脂加工でん粉のクリーンラベル対応
- パン用プレミックス、フィリング用途拡大による高付加価値化
- 業務用油により、CVSや冷凍食品の製品のおいしさ・風味を向上

2030年に向けた成長牽引の橋頭堡に

ソリューション事業

- 強みの掛け算
- おいしさトータルソリューションの提供

- 2016年7月に組織化
 - ✓ 事業横断的な組織
 - ✓ 製品の可能性を組み合わせる
 - ✓ 社会構造の変化に対応
- B to B to C事業の提案の強化
 - ✓ 中食：CVS、スーパー、惣菜店
 - ✓ 外食：外食チェーン
 - ✓ 加工：食品メーカー
- おいしさデザインの推進
 - ✓ J-オイル付加価値品の販売
 - ✓ 川上・川下同時フォロー
 - ✓ 国内・海外同時フォロー
 - ✓ 賞味期限延長・チルド化を受けた味の向上

- 採用事例 ～ビッグメニューへの貢献～

✓ **ハンバーグ弁当**
「ネオトラスト」：
水も油も吸う澱粉、やわらかさ、ジューシーさを実現

✓ **唐揚げ弁当**
「ハイトラスト」×「美味得徳」
保水効果の高いスターチとコク味の向上の油で
おいしさを長持ち

「ネオトラスト」



「美味得徳」



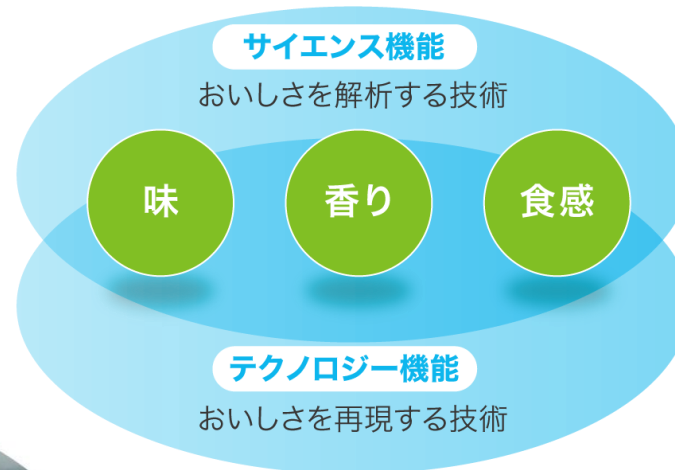
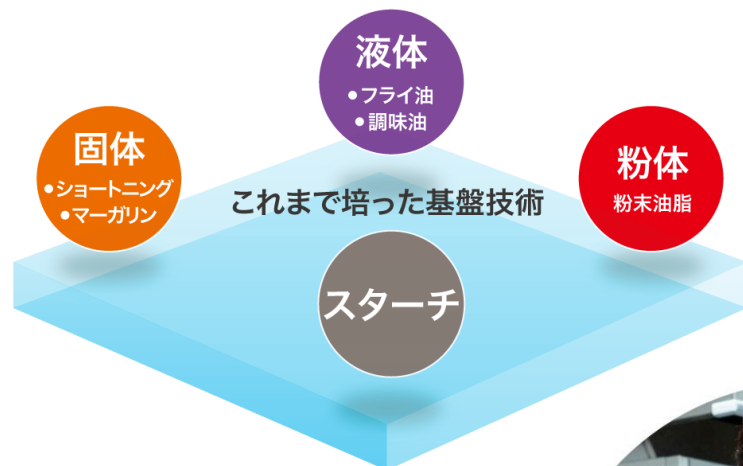
唐揚げ弁当



おいしさデザイン工房（2018年7月オープン）

～強みの掛け算により新たな価値の創造を目指す～

- お客様へのソリューション提供力の強化
- 新しいおいしさの発信源

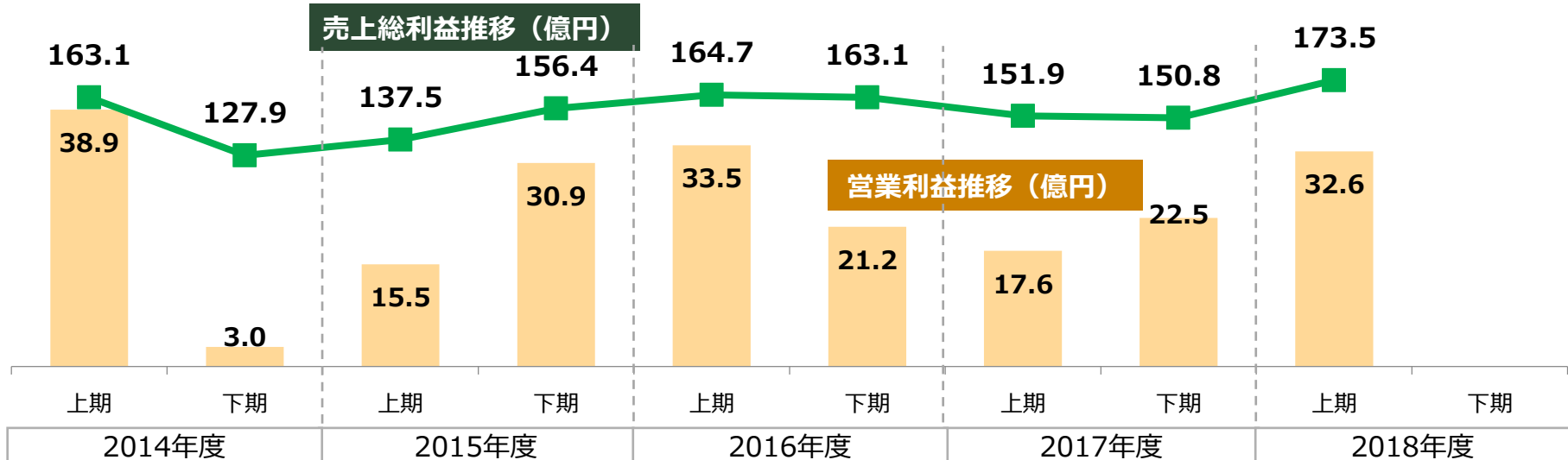
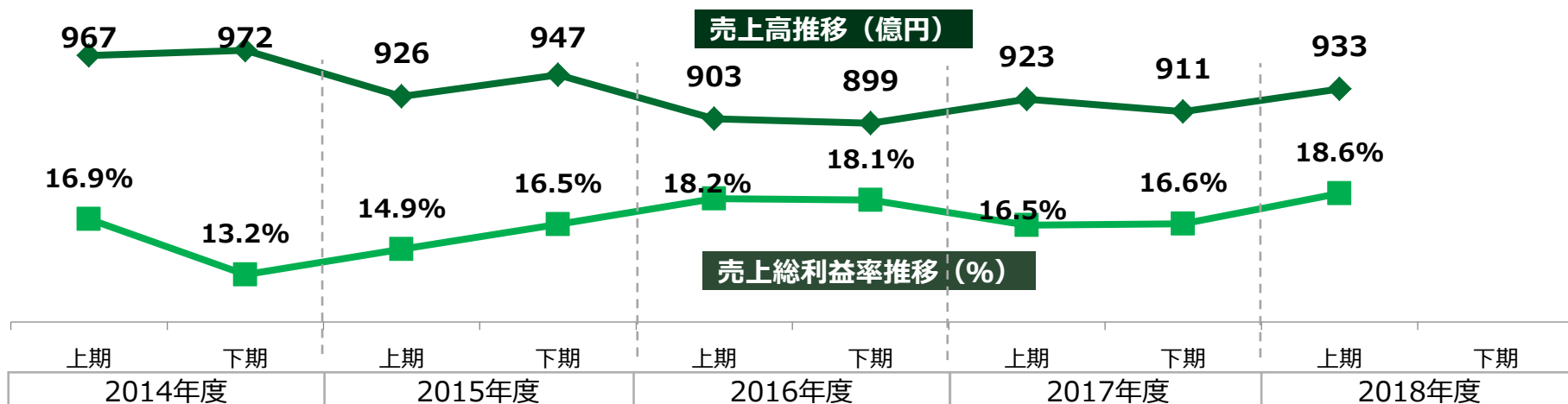


おいしいは 幸せのエネルギー。

業績の推移

～収益力改善への取り組み～

- 事業黒字化（油脂加工品・食品ファイン）、事業撤退（インド、健康食品など）
- バリューチェーンの効率化（味の素との包材の共同購買）、工場でのコストの増加抑制



おいしいは 幸せのエネルギー。

2018年度下期 重点テーマ

事業戦略

成長戦略

1. 油脂・育成領域での高付加価値品拡大
 - ✓ オリーブオイル、長調得徳、
 - ✓ プレミアムマーガリン、スターチ
2. BtoB 市場でのソリューション事業強化
～強みの掛け算～
 - ✓ B to B to C事業の提案力強化
3. アジアでの海外展開加速
～国内で磨いた価値を基に～
 - ✓ JOTの成長加速
4. 汎用油脂製品の収益力強化
 - ✓ 販売価格の維持



構造改革

1. バリューチェーンの効率化・高度化の
取り組み推進
 - ✓ 物流の効率化
2. 中長期視点での生産拠点最適化
3. 選択と集中、および効率化
 - ✓ SKUの削減

2018年度通期予想（期初公表を据え置き）

- 2018年度第2四半期の好調の維持
- 価格重視の販売戦略、高付加価値品の拡大
- 構造改革の継続的検討・推進
- 2020年度中期計画達成に向けた投資の拡大

(億円)

	実績		公表	
	2017年度 通期	2018年度 2Q	2018年度 通期	対前年 増減率
売上高	1,833.6	933.4	1,920.0	+4.7%
営業利益	40.1	32.6	55.0	+37.3%
経常利益	51.4	34.4	58.0	+12.9%
当期純利益※	41.3	29.2	43.0	+4.2%

2018年度下期計画レート：113円/ドル

※親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント情報(2018年度期初予想の修正)

(億円)

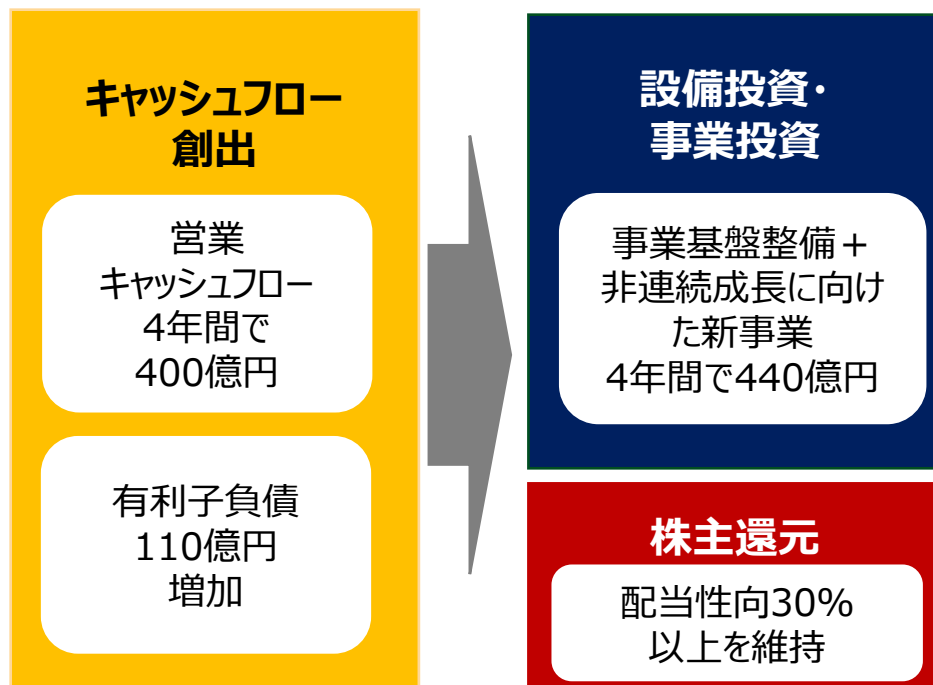
売上高	17/通期実績	18/2Q実績	18通期期初公表	期初公表進捗	18/通期修正公表	修正公表vs 期初	17vs 18修正
油脂	1,548	792	1,610	49.2%	1,624	+0.9%	+4.9%
油脂加工品	135	65	143	45.5%	138	▲3.5%	+2.5%
食品ファイン	134	69	135	51.2%	143	+5.9%	+7.0%
その他	17	7	32	23.1%	15	▲53.1%	▲12.0%
連結	1,834	933	1,920	48.6%	1,920	0.0%	+4.7%

営業利益	17/通期実績	18/2Q実績	18通期期初公表	期初公表進捗	18/通期修正公表	修正公表vs 期初	17 vs 18修正
油脂	24	27	34	80.1%	43	+26.5%	+76.3%
油脂加工品	5	1	8	12.0%	4	▲50.0%	▲15.3%
食品ファイン	9	4	11	35.0%	6	▲45.5%	▲31.3%
その他	2	0.6	2	27.5%	2	0.0%	▲9.9%
連結	40	33	55	59.3%	55	0.0%	+37.3%

財務戦略

- 第五期中期経営計画（2017-2020年度）の方針に基づき、キャッシュフロー創出力、投資を強化し、安定的な株主還元を実現する

- 第五期中期経営計画（2017-2020年度）の資金計画



(単位：億円)	FY17 実績	FY18・ 2Q実績
営業キャッシュフロー	66	82
投資キャッシュフロー	38	10
フリーキャッシュフロー	28	72
株主還元（配当）	15	8
有利子負債残高	309	240
手元現預金残高	29	25

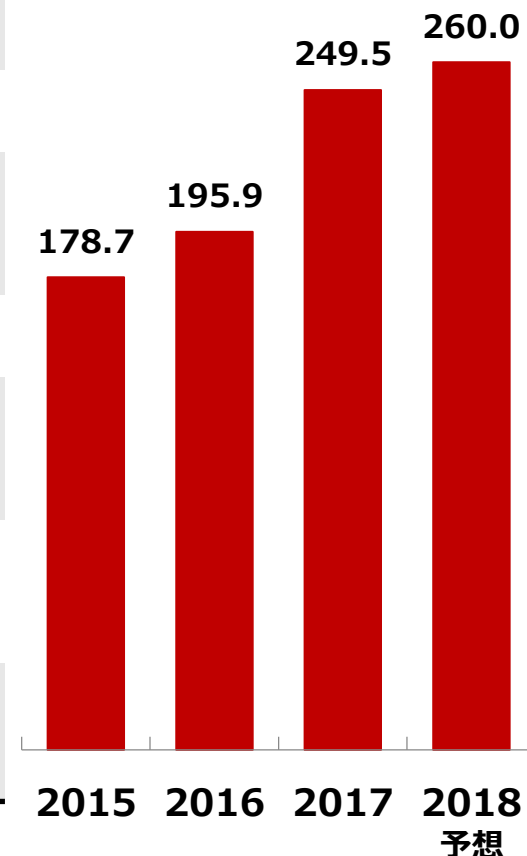
※投資キャッシュフローには、資産売却収入等を含む

FY18 2 Qまでで、遊休資産の売却等により、営業キャッシュフローは前倒しで進捗中であり、設備投資・事業投資に向けた資金を確保

主な経営指標

	15年度	16年度	17年度	18年度 2Q	18年度 通期予想
ROA(%)	1.9	2.0	2.6	—	2.8
ROE(%)	3.7	4.0	4.9	—	5.0
EPS(円) * 株式併合換算後	178.7	195.9	249.5	177.4	260.0
配当性向(%)	50.4	45.9	36.1	—	34.6
売上高営業利益率(%)	2.5	3.0	2.2	3.5	2.9
1株当たり純資産(円)	4,796	5,020	5,108	5,276	5,317
自己資本比率(%)	51.9	50.6	54.3	58.3	57.9

EPSの成長(円)



第五期中期経営計画の数値目標

(億円)

	2017年度 実績	2018年度 予想	2020年度 目標	年平均 成長率
連結売上高	1,834	1,920	2,150以上	+5%
連結営業利益	40	55	80以上	+28%
連結営業利益率	2.2%	2.9%	3.5%以上	—
ROE	4.9%	5.0%	5.0%以上	—

企業理念

- 3社経営統合による企業価値の最大化
- 事業環境の変化への対応

Joy for life

生きるをおいしく、うれしくしたい。

あぶらを究め、心を動かす
おいしさデザイン

J-オイルミルズ行動指針/行動規範

あぶらを究め
人を究める
探究心

新たな領域に
チャレンジする
挑戦心

まだない価値を
生み出す
創造力

真剣に向きあう
真摯

相手のことを想う
共生

誰にも負けないあぶらへの愛
ラブアブラ

目指すべき
未来

将来的（2030年）には、
油以外・食以外の領域にも展開し、海外も含めて、
人々の生活を豊かにし、Joy for lifeを実現する。

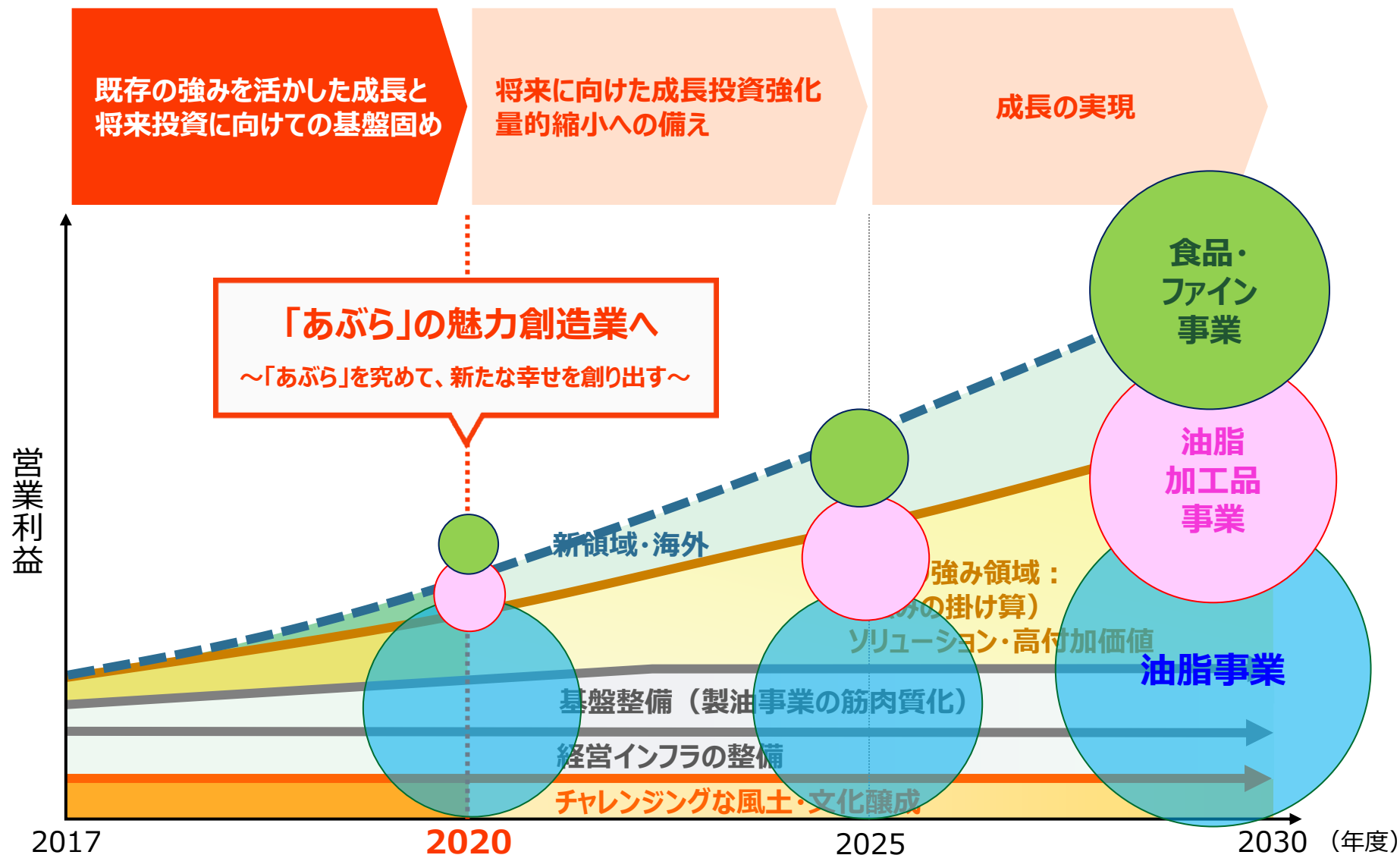
私たちの使命

中期的（2020年）には、
有形・無形の資産を有する油のおいしさに軸足を置き、
油の価値を究めて強みを伸ばしていくことで人々の心を
動かすおいしさを創造し、おいしさデザイン企業を目指す。

私たちの価値

おいしさとうれしさを創造するために、
世の中に興味を持ち、自ら考え、動き出そう。
あらゆる壁を越えて、互いの強みを掛け合わせよう。
常に挑戦し、失敗から学び、また挑戦しよう。

中長期的な成長イメージ ～2030年へ向けて～



「Joy for life」「油を究めて幸せを創る2020」

目指すべき未来



Joy for life

生きるをおいしく、うれしくしたい。

私たちの使命

第五期中期経営計画
(2017年～2020年度)

油を**究**めて**幸**せを**創**る**2020**
おいしさデザイン企業へ

「油を究めて幸せを創る2020 ～おいしさデザイン企業へ～」と「Joy for life」

おいしさデザイン企業を目指し、あぶらの価値を究めることで、当社の強みを徹底的に掘り起こしていきます。
その先には、あぶらと食を組み合わせ、多様な価値を生み出し、あぶら以外のおいしさも創造していきましょう。

「もっと可能性を広げていける会社になっていく。」

それが、「Joy for life ～生きるをおいしく、うれしくしたい。～」につながります。



本資料取扱上の注意

- 本資料の金額は、四捨五入で表示しています。
- 本資料記載の内容は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績は、さまざまな要因により本資料の予想とは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。